



法学部同窓会

2026年度総会・講演会・懇親会開催

日時	2026年6月28日（日）、【総会】11:30～12:00、【講演会】12:00～13:00、【懇親会】13:10～15:00 時間については予定
場所	ホテルグランヴィア京都（京都駅直結）5階【竹取の間】
参加対象	法学部、法学研究科、法科大学院同窓生
参加費	10,000円（事前申込のみ）
申込	4月以降に本サイトにて申込方法をご案内いたします

講演会

決まり次第、本サイトに詳細を掲載いたします。



あの頃の法学部

立命館の法学部に来たのは1974年30歳だった。末川博先生の名は知っていても、関西・京都はまったく知らない者だった。それが50年を超えてしまった。さまざまな思いがある。2点だけを記す。

早々に、天野和夫先生から、「君は私学出身だから、気づくことが多いだろう。遠慮なしに発言してほしい」といわれた。紛争の傷跡が生々しい広小路での講義・演習に追われたが、その当時、よく云われたのが、立命の“清貧”、“清く、正しく、まずしく”だった。これを“清く、正しく、ゆたかに”にかえたいと思った。大学の本分は、在学する学生を大事にすること、人が育つ場とすること、そのための「清く、正しく」、そして、「ゆたかに」である。

もう一点。教員にとっての最大の幸運は学生にめぐまれることだと思う。とくに身近なゼミ生に。主観的には、“まあ先輩一後輩、すこし身勝手な友だち”という気分であった。ところが、いつの間にか、「先生が学生の面倒を見る」のとは逆の、「学生が先生の面倒をみる」関係となってしまったようだ。親が勝手だと、子はたくましくなる、といったらおこれそうだが、いまは70歳代から40歳代になった諸氏と会い、あれこれの消息や話題に接することがうれしい。

教員と学生、人と人との自由な関係は、人生をゆたかにする。僕にとっては感謝だけが、これは、立命・法の特徴であると思う。



立命館大学名誉教授
大久保 史郎



輝くひと

全国で活躍中の同級生にインタビュー



2016年法学部卒・弁護士
市橋 瑞希さん

私は2016年に法学部を卒業し、2019年に司法試験に合格しました。在学中は倉田玲ゼミで判例や文献を読み込み、議論を重ねました。そのときに鍛えられた思考力や探究力は、今も仕事の土台になっています。

司法修習後は大阪市内の法律事務所を経て、現在はIT企業で企業内弁護士として働いています。契約書の作成・レビュー、サービスの利用規約やプライバシーポリシーの整備などを通じて、事業の立ち上げから運用までを法務の観点から支えています。そのほか、コンプライアンス推進にも関わるなど業務は多岐にわたります。特にAIや各種データの利用などの技術の進化が速い領域で、法律と社会的受容のバランスを取りながら、サービスを前進させるためのルール設計を行うことにやりがいを感じています。

また、ご縁をいただき、立命館大学理工学部で個人情報や著作権などの講義を担当しています。あわせて、理工学部の研究室では、AIの技術的課題について、個人情報や著作権保護の観点から研究にも参加しています。この研究では、科研費の採択もいただきました。

法学部での学びを土台に、これからも法律・テクノロジー・社会をつなぐ役割を果たしていきたいと思っています。



草野球サークルの活動



昨年10月の法学部ホームカミングデーの際に撮影した懐かしの学食



2012年法学部卒・鳥取県庁職員
阪口 真紀さん

私は高校からホッケーをはじめ、高校で日本一になりたいという夢を叶えることができず、立命館大学でもホッケーを続けることにしました。

勉強より、友達と遊ぶより、何よりも部活でした。日本一になりたい！その目標を達成するために毎日必死でした。

かけがえない仲間と共に過ごした4年間は今でも大切な財産です。

結果的に日本一にはなれず、大学卒業後もその目標を達成するため、実業団で続ける決意をしました。

そして、ついに日本一を達成できたとき、次の目標としてオリンピックがチラつきました。

そこで、日本一という目標からオリンピック出場という目標に変わりました。過酷なトレーニング、休みなしの合宿、海外遠征、オリンピックに出るためには与えられたことをしているだけでは足りず、自分で考えて努力をしなければいけません。そんな日々を過ごし、夢、目標であったリオオリンピックに出場することができました。今でも出場が決まった時の気持ちは忘れることができません。

家族、仲間の支えがなければ、この夢も叶えることができなかつたと思います。今は現役を引退し、ホッケーの指導にあたっています。どんなに上手い選手でも人間力がスポーツには必要だと私は思います。

現在は、鳥取県庁の職員として、小学校、中学校、高校の生徒にホッケーの指導をするほか、オリンピック選手の育成もおこなっています。

「人間力なくて、競技力向上なし！」

この言葉をしっかりと理解し、1人でも多くの選手をオリンピックに輩出できるよう今後も頑張っていきたいと思っています。



立命館大学4回生と天理大学4回生ライバルチームとの引退時の集合写真



リオオリンピックでのプレー



退職の先生

2025年度 先生の退職

2025年度に退職される先生方です。教育・研究に長きにわたってご尽力いただきましたことに感謝いたします。



小松 浩
法学部教授
専門分野：憲法
2009年着任



松岡 久和
法務研究科教授
専門分野：民法
2017年着任



望月 爾
法学部教授
専門分野：税法
2004年着任



本山 敦
法学部教授
専門分野：民法
2003年着任



和田 吉弘
法務研究科教授
専門分野：民事訴訟法
2016年着任



川中 啓由
法学部准教授
専門分野：民事訴訟法
2017年着任



同窓会等開催報告

※ 同窓会事務局に実施報告のあったものを掲載（2025年5月～2026年1月開催分）



2025年5月10日（土）
趙ゼミ同窓会



2025年6月1日（日）
第46回立命館大学法学部商法壇
田ゼミOB・OG会



2025年11月9日（日）
中川会



2026年1月24日（土）
望月爾先生のご退職をお祝いする会